

立憲民主党におけるパリテの実現に向けて  
並びに 女性候補者擁立を妨げる要因・障壁 について  
北京 JAC（世界女性会議ロビイングネットワーク）答申

2018年2月27日

立憲民主党におけるパリテの実現に向けて

**1 原則の確認**

あらゆるレベル意思決定機関（中央、地方、各種委員会等）へのパリテ（男女同数参加）は代表制民主主義の構成要素である。

**2 党組織・党政策**

(1) 1の原則に基づき、党の意思決定機関への男女同数参加の実現をはかる。

(2) 党首が男性（女性）なら副党首は女性（男性）にし、副党首が複数なら男女同数にする。

ある委員会の委員長が男性（女性）なら、副委員長は女性（男性）というように、男女のペア制度を導入する。

(3) 党公認候補者の男女同数を実施する。

**3. 選挙制度の抜本的見直し（これは立憲民主党がイニシアティブをとって実現に努力して欲しい）**

参院：拘束名簿式比例代表制を復活する。

衆院：比例代表制の比重を増やす。

地方：中・大選挙区制における複数投票制を導入する。

**4. 立候補の自由を保障するための世界一高い供託金の見直しをはかる。**

立候補を妨げる要因、解決するための方法

**1 根強い固定的性別役割意識、女性差別意識**

(1) GGI 114位と下げとどまらない理由は、性差別を解消しようという政治的意志の欠如である。

党内の男性議員向けジェンダー研修を実施しモデルを示す。

(2) ジェンダー平等、人権意識を高めるための教育・研修機会の充実をはかる。

(3) 男性の意識変革のための研修を積極的に行う。

**2 女性候補者を増やすために**

(1) 地域の女性リーダーの質の強化と数の増加とそのネットワーク化をはかる。

(2) 政治参画のためのトレーニングを強化する。

そのために全国各地に女性の政治スクールを開催、そのための基金などを募ること。

(3) 立憲民主党の政党支部に女性の役員を増やすこと。

(4) 国政にとどまらず地方議会においても、立候補にあたっては選挙資金のサポートを行うこと。

(5) 地域の女性団体、団体女性部（労働組合も含む）との連携を強化すること。

(6) 高齢社会のなかで要介護者など声をあげにくい、しかしその問題から立ち去れない当事者性のある候補者として高齢者の代表も必要である。

そのための候補者の年齢制限撤廃（平均寿命の男女差を考慮）を考慮する。

(7) 女性の政治への関心を高めるための仕組みづくりを行う。（例えば、パリテカフェのような集いの場を全国各地に創り出す）

北京 JAC(世界女性会議ロビイングネットワーク)

代表 船橋 邦子